

執筆者紹介（掲載順）

内海 孝（うつみ たかし）東京外国語大学名誉教授

橘川 俊忠（きつかわ としただ）神奈川大学百年史編纂委員、神奈川大学名誉教授（法学部）

田中 智子（たなか さとこ）学校法人神奈川大学資料編纂室

吉原 勇樹（よしはら ゆうき）学校法人神奈川大学資料編纂室長

編集後記

内海論考では、一通の廃棄書翰に見える、横浜専門学校奨学会顧問に就任する直前の原富太郎（三溪）が抱えていた苦悩や存在感を明らかにしていただきました。一通の書翰からこれほどまでに壮大な物語を描けるものかと感銘を受けました。物語にはまだ続きもあるようですので、期待したいと思います。

橘川論考では、前々号・前号に続き、神奈川大学日本常民文化研究所の歴史を紐解いていただきました。今号では常民研が大学に定着するために、所員たちによる様々な努力と工夫が行なわれてきたことを明らかにしていただきました。次号からは常民研の拡大・充実の過程が描かれるとことですので、次号以降も期待したいと思います。

資料紹介で取り上げた蒔田メモには、大学紛争時の教学執行部の苦悩が描かれていました。未だ翻刻・分析の途中ではありますが、来たる『神奈川大学百年史』通史編Ⅰの編集・執筆に資するよう、蒔田メモの翻刻・分析を通じて、大学紛争期の神奈川大学の解明を急ぎたいと思います。

展示報告では、「吉盛忌」に際しての新たな取り組みであるパネル展示について紹介しました。過去に開催された展示の再構成にはなりますが、前回開催時から約六年の月日が経っているので、新鮮な気持ちで展示を見ることができました。大学創立にかかわる展示は、定期的に行なうのがよいと感じました。（S）

神奈川大学史紀要 第10号

2025（令和7）年3月31日 発行

編集 神奈川大学百年史編纂委員会専門委員会
学校法人神奈川大学大学資料編纂室
発行 学校法人神奈川大学
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
電話 045-481-5661（代）
印刷 株式会社 精興社
〒101-0054 千代田区神田錦町 3-9